

第 2 章 計画の基本理念

私たちは、戦後、生活の豊かさを求め、社会は急速な経済発展を遂げてきました。しかしながら、都市化、核家族化が進み、少子高齢社会が到来した現在、暮らしの中で大切な地域のつながり、支えあい、助けあいにより、だれもが安心して暮らせる心の豊かさを見直す時期が来ているのではないのでしょうか。

少子高齢化が一層進み、災害対策、防犯対策の意識が高まる中、いつまでも安心安全で、健康で輝き続ける人生を送ることはすべての市民の願いです。そのためには、人権尊重を基本とし、市民の支えあいのところを醸成し、だれもが、助けたり、助けられたりする存在であることを理解することが大切です。

計画では、子ども、高齢者、障害のある人たちをはじめ、だれもが地域社会の一員として、ふれあい、心身ともに健やかに、生きがいをもって暮らすことができるようなまちづくりを進めていきます。さらに、愛情溢れる思いやりのところがみんなに育まれることを大切にしていきます。

<参考>

第1次京丹後市総合計画では、保健、医療、福祉分野において、基本理念の一つに安心力「ともに支え合い、安心して暮らせる健康・福祉のまちづくりをめざします」を唱え、基本方針として「生きる喜びを共有できる健やか安心都市」としています。

ささえ愛 たすけ愛 ふれ愛のまち 京丹後